

くん蒸協発第 48 号
令和 5 年 10 月 30 日

会員各位

一般社団法人日本くん蒸技術協会
会長 坂野 雅敏



植物検疫くん蒸時の危害防止対策の徹底について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃から当会の事業にご理解とご協力を賜り御礼を申し上げます。

さて、今般、農林水産省植物防疫課長から別添のとおり、輸入植物検疫における穀類（飼料用とうもろこし）のサイロにおける臭化メチルくん蒸時に事故が発生したとして、当会関係者に対して同様の事故の再発防止のため植物検疫くん蒸における危害防止対策要綱の遵守の徹底について周知するよう通知がありましたので、お知らせします。

同通知によれば、臭化メチルくん蒸前に検査不合格荷口の搬出が開始され、その搬出中に投薬作業が開始されたとのことでした。

事故当時の状況の詳細や原因については明らかにされていませんが、投薬された臭化メチルガスによりサイロ周辺の作業関係者の死亡事故に繋がりにくい重大な事態が生じ得たものと考えます。

当会としては、検査不合格荷口を未くん蒸のまま搬出されたことは植物検疫上あってはならないことですが、人の健康への危害防止の観点から、植物検疫くん蒸作業を安全かつ的確に実施することが非常に重要であると考えます。

つきましては、会員各位におかれましては、このような事態を再び発生させないように、日頃の植物検疫くん蒸業務の内容を再確認し、「植物検疫くん蒸における危害防止対策要綱」（昭和 43 年 4 月 22 日 農政 B 第 699 号）の遵守に務められるようお願い申し上げます。

なお、植物検疫くん蒸業務に直接関係しない会員様には大変申し訳あり

ませんが、情報共有の意味でお送りさせていただきましたので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

(ご参考)

植物検疫くん蒸における危害防止対策要綱

https://www.maff.go.jp/pps/j/law/houki/yoko/yoko_67_html_67.html

5 消安第 4427 号
令和 5 年 10 月 30 日

一般社団法人日本くん蒸技術協会 会長 殿

農林水産省消費・安全局植物防疫課長

植物検疫くん蒸時の危害防止対策の徹底について

日頃より植物防疫行政への御理解と御協力を賜り、心より御礼申し上げます。

植物検疫くん蒸の実施に当たっては、植物検疫くん蒸における危害防止対策要綱（昭和 43 年 4 月 22 日付け 43 農政 B 第 699 号農政局長通知）に規定する危害防止上の各種注意事項を遵守することとなっております。

しかしながら、今般、植物防疫所の輸入検査で不合格となった飼料用とうもろこしが、臭化メチルによるくん蒸前にサイロから搬出され、かつ、その搬出中に投薬が開始される事案が発生しました。幸いにも、本事案による人的な被害は発生しませんでした。死亡事故が起こりかねない危険な状況でした。このような事故を防ぐため、植物検疫くん蒸に携わる全ての関係者がくん蒸作業時の注意事項を十分に認識するとともに、現在のくん蒸作業を再点検し、必要に応じて作業時の流れについて見直しを行っていただく必要があると考えます。

このため、貴協会におかれては、植物検疫くん蒸に携わる傘下会員に対して、改めて植物検疫くん蒸における危害防止対策要綱の遵守を徹底するよう、周知いただきますようお願いいたします。